

平成25年12月1日(日) 10:00~16:00

レソラNTT夢天神ホール

駐車場がございませんので近隣の駐車場、もしくは公共交通機関をご利用下さい。

月星 光博 先生 (医) 月星歯科クリニック 理事長 国際外傷歯学会前会長

ご略歴

1977年 大阪大学歯学部卒業
1981年 京都大学医学部大学院卒業
1982年 愛知県海部郡蟹江町にて月星歯科クリニック開設
1988年 米国歯周病学会会員
1991年 日本自家歯牙移植研究会会長
1998年 大阪大学歯学部非常勤講師 (2006年退任)
1998年 米国ロマリンダ大学歯内療法学教室非常勤講師
2003年 日本再生歯科医学会理事
2009-2010年 President of International Association of Dental Traumatology
2012年 米国ウエスタン大学歯学部臨床准教授

主な著書:

月星光博 編著: 自家歯牙移植. クインテッセンス出版, 東京, 1999年
月星光博, 月星千恵 編著: Minimal Tooth Movement. クインテッセンス出版, 東京, 2003年
月星光博 著: 外傷歯の診断と治療. 増補改訂版. クインテッセンス出版, 東京, 2009
月星光博, 福西一浩 編著: 治癒の歯内療法 新版. クインテッセンス出版, 東京, 2010
月星光博, 泉英之 著: コンボジットレジンと審美修復. クインテッセンス出版, 東京, 2012



【第1部】

これからの「エンド」の話をしよう—Justice in Endodontics—

我が国のエンドの成功率は現在どれくらいであろうか? 筆者の偏見だろうか、日常臨床で遭遇する患者の엑스線写真を見る限り、今も昔もエンドの成功率は高いとは思えない。その原因を、教育、医療システム、歯科医師の技量(知識と技術)などさまざまなものに押しつけることはたやすいが、基本的には、「根管の感染を除去できないこと」、いやむしろ、「根管を感染させてしまうこと」が失敗の根源である。

根尖病変に代表されるエンドの問題は、それが「術前」であろうと「術後」であろうと原因は感染であることは疑いの余地はない。したがって、根管治療のゴールは単純明快である。感染根管では細菌を除去することであり、抜髄根管では細菌感染をさせないことである。このためには、ラバーダム装着、厳密な器具の滅菌、そして緊密かつ強固な仮封操作などの基本的な「エンドの常識」が要求される。この常識が守られて初めて「エンドの革新: Endodontic innovations」が可能になる。

一方、「理想的な根管充填材は歯髄である」とはよく聞く言葉である。いいかえればエンドのゴールは歯髄を守ること、根管治療をしないことである。加齢的なエンドの大きな問題に無髄歯の歯根破折があげられるが、この重要性を物語っている。本来生体は、想像以上の感染防御力(免疫力)と失われた組織の再生力を有している。そこで、我々歯科医師が目指さなければならないことは、生体(免疫と再生)への手助けである。とくに若年者で顕著であるが、感染除去に伴う歯髄の再生力に驚かされる。歯科領域では、乳歯の歯髄、歯根未完成における歯乳頭(ヘルトヴィツヒ上皮鞘)内側の細胞(歯髄の前駆細胞)、歯髄、歯根膜、骨髄といった多くのstem cells(幹細胞)の供給源と我々は日常臨床で隣り合わせにいる。手を伸ばせばそれを手に入れる、利用できる立場にいることを再認識したい。

講演では、「エンドにおける正義のあり方」について考えたい。

【第2部】

外傷歯の診断と治療

近年、う蝕および歯周疾患に対する治療法の発展はその予防を含めて著しいものがある。しかし歯科外傷のそれは、発現頻度の高さに比して大学の歯科教育の中で置き去りにされている感が拭えない。年々歯への国民の関心が高まりつつあり、歯科医師との協力のもとに地域社会で齶蝕や歯周病の予防が着実に実行されている一方で、外傷歯ははたして適切に処置されているだろうか?

歯科外傷は、学童期に発現頻度のピークを示すことからわかるように、若年者に多く見られる。また、歯牙硬組織、歯髄、歯根膜、骨、歯肉、といった組織の一部または全部を巻き込んだ急性の疾患であり、ゆえに歯科全般にわたる知識と技術が要求される。

若年者ゆえの生体の治癒力の高さや、基本的に感染性の疾患とは異なる点などが、歯牙硬組織、歯髄、歯根膜、歯槽骨などに対して、より保存的、生物学的許容性、予知性の高い治療法の選択をもたらしてくれる場合が多いように思われる。言い換えれば、歯列や歯そのものが発育期にある小児では、保存的治療すなわちミニマル・インターベンションの概念を重要視した治療を心がけねばならないと考えられる。

講演では、症例を中心に、外傷歯の診査・診断・治療の概略について考察し、外傷歯治療のガイドラインを示したいと思う。

とするとオーバートリートメントになりがちな外傷歯治療を見なおすべき、かけになれば幸いです。

お申し込み詳細は裏面に記載しております。

長崎大学歯学部同窓会平成25年度の特別講演会は
 歯内療法、外傷歯の診断と治療、コンポジットレジンと幅広く
 著名な月星光博先生をお招きして、福岡は天神で開催いたします。
 先生方にはご多忙中恐れ入りますが、万障お繰り合わせの上
 是非ともご参加下さい。



定員230名

- 西鉄福岡(天神)駅から徒歩2分
- 地下鉄空港線天神駅から徒歩5分
- 地下鉄七隈線天神南駅から徒歩5分
- JR博多駅から天神まで地下鉄で5分
- 福岡空港から天神まで地下鉄で11分
- 天神バスセンターから徒歩3分

駐車場がございませんので近隣の駐車場、
 もしくは公共交通機関をご利用下さい。

参加費 (消費税込) ※お申し込みは定員になり次第締め切らせて頂きます。

歯科医師長崎大学歯学部同窓会会員 (自動納入手続済)	5000円
歯科医師長崎大学歯学部同窓会会員 (但し当日までの自動納入手続申込で5000円に)	6000円
歯科医師九州5大学歯学部同窓会会員	6000円
歯科医師一般	8000円
歯科医師研修医・修練医・大学院	3000円
歯科衛生士・歯科技工士・歯科助手	3000円
学部学生	1500円

振込先 十八銀行 本原支店 普通 1028005
 長崎大学歯学部同窓会 学術講演会

FAXにてお申し込み頂き、参加費をお振込み下さい。参加費の入金をもって正式なお申し込みとさせていただきます。
 参加費お振込みの際の、手数料はご負担願います。振込名は個人名でお願い致します。お振込控「振込証明書」を領収書としてご利用下さい。
 お振込み後のキャンセルによる返金は致しかねますのでご了承下さい。

お申し込み先
 Fax:095-826-2225 いわなが歯科長崎駅前クリニック 岩永正憲
 お問い合わせ先 TEL:095-849-2348
 Mail:motoharadent@ngs2.cncm.ne.jp 本原歯科医院 川久保敦
 当日は、長崎大学歯学部同窓会会費の自動納入手続きも行っております。
 払い忘れ、支払いの面倒さがなくなる便利なシステムです。
 ご希望の方は通帳、印鑑をご持参の上、受付横のブースまでお願いします。

長崎大学歯学部同窓会 平成25年度 特別講演会参加申込書

お名前の横の に、以下のアルファベットをお書き下さい。

A:長崎大学歯学部同窓会会員 B:九州5大学歯学部同窓会会員 C:歯科医師一般
 D:研修医・修練医・大学院 E:歯科衛生士・歯科技工士・歯科助手 F:学部学生

医院名・勤務先

お名前

お名前

お名前

電話番号()-()-()

参加費合計 ¥

FAX 095-826-2225